

令和5年度 八丈町立富士中学校 第3学年 キャリア教育年間指導計画

【基本指導方針】 総合的な学習の時間に行われる学習活動を根幹とし、全教育活動においてキャリア教育の実践を図る。

1 キャリア教育目標

- 自己の個性を理解し、自意識の滋養と豊かな人間性を育成する。
- 将来、社会人・職業人として自立し、時代の変化に対応できる、必要な意欲や能力を身に付ける。
- 働くことの意義を理解し、興味・関心等に基づいた職業観・勤労観を身に付ける。
- 自ら進路計画を立案し、適切な進路選択ができる。

2 3学年の重点目標

自己実現（進路を選択する）

- 世界、日本の平和について考える。
 - ・ 自分たちが生活する国である日本の平和について考え、平和の大切さと人との繋がりを理解する。
 - ・ 平和な社会の実現のため、将来の社会における自己の役割を考える。
- 自分の生き方について考える。
 - ・ 自己の能力・適正についてよく考え、適切な進路を主体的に選択できる力を身に付けさせる。

3 学習内容

(1) 社会と共に生きる【社】

- 修学旅行を通して、歴史上の史跡が多く残る地や戦争の悲劇を伝える地を訪問し、実際に見る・聴く・触れることで日本の文化と伝統ある歴史と平和の大切さ学習を深め、自分たちが生活していく社会を見つめる。
- 身近にある「進学」に焦点を当て、高等学校での学習・生活の役割、その後の人生への繋がりを学習し、自己の進路について考えを深める。

【取組】→ 修学旅行（平和学習、日本文化学習、行程内での上級学校訪問など） 上級学校へのアプローチ（上級学校訪問、上級学校調べ）

(2) 人と共に生きる【人】

- 社会には様々な人が生活している実情を知り、社会において「福祉」とは何か、何故、福祉が必要なのかを考え、様々な個性をもつ人々との関わり方を学ぶ。
- 島内の福祉施設でのボランティア活動を通して、バリアフリーなど実社会の福祉の実情を学び、人との触れ合いの大切さを学ぶ。

【取組】→ 社会福祉へのアプローチ（福祉学習、福祉施設でのボランティア）

(3) 地域と共に生きる（未来を生きる）【地】

- 自分自身、自分の住んでいる場所、周囲の人や環境に目を向け、地域・社会に生きる自分自身について考える。
- 自己の能力・適性についてよく考え、適切な進路を主体的に選択できる力を身に付けさせる。

【取組】→ 思い出新聞（自分史新聞作り） 進路説明会・進路希望・選択 上級学校へのアプローチ（上級学校訪問、上級学校調べ）

(4) ふるさと貢献【ふ】

- 八丈島に愛着をもち、未来を切り拓く主体性とコミュニケーション能力を身に付ける。

【取組】→ 体験学習（自分たちが生活している八丈島の文化・歴史・環境の理解を図る）

4 年間指導計画

※学習欄【 】は上記内容、【総】は内容全てを示す。表中の○数字はキャリア教育全体計画育成すべき4つの能力の18の観点を示す。

月	行事 特別活動	学習	キャリア教育の基礎的・汎用能力(指導観点)				学活との関連	道徳との関連	教科との 関連	指導内容
			人間形成能力 社会形成能力	自己理解 自己管理能力	課題対応 能力	キャリアプラン ニング能力				
4	学級開き	最上級生としての自覚【人】【社】	○3年生として後輩との関係や自己役割を考える③	○自分の得意・不得意を理解し自分を高めようとする。⑦	○自分の目標を見出し達成に努める。⑪	○3学年の教育活動を理解し、理解を深める。⑬	○学級開き ○儀式的行事の心得。	C-(15) 集団と役割 A-(4) 希望と勇気 A-(2) 生活のリズム	【全教科】 学習の適応	○3年生としての生活・学習の仕方を理解し、目標・課題を立てさせる。 ○自己管理する能力を高めさせる。 ○最上級生としての役割を考えさせる。
	委員会 部活動 説明会	私たちの学年・学級【人】【社】	○自分の役割を理解し、人のために実行する。⑤	○自分の適性を理解して学級での役割を分担する。⑥	○係り、当番等を通して仕事の取り組み方が分かる。⑪	○学級の中での自分の役割を把握し協力して仕事を。⑫	○委員会・部活動・係の役割 ○学級の組織づくり	C-(15) 集団と役割 C-(10) 規則の意義 B-(6) 感謝を伝える		○自分の目標に照らし合わせ、自己の役割を認識し、委員、係の仕事内容を考え、自ら主体的に活動し、学級活動が円滑に行われる様な取組を考えさせる。
	進路学習	自分を見つめる（職業の適性）【人】	○社会生活に適応する方法を知る①②④	○自分の職業適性を考える。⑥⑦	○学んだことが将来、何に役立つのか気付く。⑪	○興味・適性を生かす生き方を考える。⑫⑬ ○学習と将来の生き方との関係を理解する。⑬	○進路学習	C-(16) 郷土への思い A-(3) 自己を見つめる	【全教科】 教科と職業との関連	○自分の興味、適性を把握させる。 ○進路選択の最終的な目標として、将来の希望する生き方を考えさせる。 ○将来に続く進路を考えさせる。
5	学校生活の充実（男女の理解と協力）【人】【社】	○自他の違いに気付く。③	○自分の特性を知る。⑥	○他者の長所を理解できる。⑩	○男女が協力し生活していく上で自分を活かせる生活設計ができる。⑫⑬	○異性の理解	B-(8) 男女の人格の尊重 B-(6) 感謝を伝える	【保健指導】 性教育「思春期の心と体」	○男女の違い、特性を理解し、互いに尊重して協力して生活していける力を育成する。	
	期末考査 定期テスト	学ぶ意義を考えよう【人】	○学習と将来の生き方との関係を理解する。①	○自分の得意不得意を知る⑥ ○意欲的に学習して学校生に適応する。⑧	○学習の課題を見出し解決しようとする。⑩	○自分に合った計画を立てる⑬ ○学んだことが将来何にかに役立つか気付く⑬	○テスト計画	A-(4) 希望に向かって A-(2) 生活のリズム	【全教科】 将来につく職業との関係	○現在行っている学習は、生きていく上でどの様に生かされるかを考え、理解させる。 (5・6・10・12・2月実施)

月	行事 特別活動	学習	キャリア教育の基礎的・汎用能力(指導観点)				学活との関連	道徳との関連	教科との 関連	指導内容
			人間形成能力 社会形成能力	自己理解 自己管理能力	課題対応 能力	キャリアプラン ニング能力				
5	交通安全 教室	自転車の 安全な利用 【社】	○正しい利用の仕 方を理解し、生 活に生かす。⑤	○自分の利用の 仕方を点検す る。⑧	○交通事故主な原 因であること認 識する。⑨⑪	○自転車の安全な 活用を考える。 ⑫	○安全指導	D-(22) 限りある命を C-(10) 規則の意義	【保健体育】 安全教育	○自転車の利用の仕方によっては大事故と なってしまうことを学び、安全に自転車を 利用する態度を養う。
6	生徒総会 生徒会週間	生活の場を 知ろう。 より良い環境 づくり。 【社】【人】	○自他の役割と責 任を自覚しなが ら、協力しチー ムで仕事ができ る。①②⑤	○生活している 場を知り自己 生活の場での 役割を考える ⑧	○様々な調査活 動(提案内容等) で得た情報を整 理し評価するこ とができる。⑪	○係・委員会活動 を通して、仕事 の取り組み方を 理解できる。⑭ ○自分の役割や考 え、やるべき事 や人の為になる 事を実行するこ とができる。⑫	○委員会・部 活動・係の 役割	C-(15) 集団と役割 C-(10) 規則の意義 A-(2) 生活のリズム		○学校の生活向上のために、意見を交換し、 自分の役割をしっかりと考え、行動できるよ うにさせる。(生徒会週間は6・1月に実施)
7	進路学習	進路選択に向 けて。 (進路選択の 条件) 進路計画を立 てる(進路希 望調査) 【社】	○新しい生活(上 級学校での生活)に適応するた めの条件を知る ① ○自分に何が足り ないかを認識し 改善の努力をす る。③	○自分の長所や 成長を理解で きる。⑥ ○自己理解の重 要性に気付く。 ⑦	○多くの条件をま とめ活用できる ⑨⑪ ○自分の夢の実現 に必要な情報を 選択する。⑨⑩	○自分を生かす、 生活設計を立て る。⑬ ○進路計画の必要 性が分かる。⑮ ○最適な選択を考 える。⑮ ○自分の人生に責 任をもつことを 自覚する。⑯	○進路学習	D-(19) 生きる力 A-(4) 希望に向かって C-(13) 仕事に生きる		○入試概要について理解させる。 ○自分の興味に応じた進路先の調査(情報収 集)を行わせる。 ○自分の進路選択の目標を再確認し、主体的 、計画的に取り組ませる。 ○年間進路計画を作成させる。
	上級学校 講話	自分の進路 適性を考える 【社】	○夢の実現に向け て意欲を持ち、 努力する。②	○進路先への適 性を考える。 ⑥	○高校の生活、学 習などの情報を 得る。そして活 用する。⑩	○自己の高校での 生活を考える。 ⑬	○進路学習 上級学校(高 校)職員講話	A-(3) 自己を見つめる A-(1) 自分の生き方		○上級学校の情報を活用し、自己の進路選択 及び進路の実現に役立てる。
	三者面談	相談を 利用しよう (高校とは) 【人】	○自分の考えや思 いを他人に表現 できる。③④	○自分長所と成 長を理解でき る。⑥⑦⑧	○情報を活用する ことができ、学習 と将来の関連が 分かる。⑩	○日常生活と将来 の関連に気付く ○意思決定過程と 責任を自覚し、 悩みと解決策を 検討する。⑱		C-(14) 家族の願い A-(3) 自己を見つめる		○自分の将来を考え、そのための情報を収集 し、整理し活用できる。 ○第三者の意見に耳を傾け、自分の向上に役 立てる。 (7月・11月・12月に実施)
	上級学校 調べ	上級学校 調べ 発表会 【社】	○自分の特性を他 人に表現できる ③	○自分の進路適 性を考える。 ⑥	○学校の学習や生 活の内容を収集 し自己の進路選 択に役立てる⑪	○希望の進路に向 けたイメージが 描ける。⑮⑯	○進路学習	C-(16) 郷土への思い A-(4) 希望に向かって	【社会】 職業につく ために必要 な資格など	○自分の進路について考えを深める。 ○上級学校の種類、内容などの情報を収集し まとめ、他の者と共有化を図る。
	1学期の 振り返り	学校生活を 振り返る【人】	○自分の役割と責 任を理解し学校 生活に適応し、 努力する。④⑤	○自分の長所・ 短所を認め受 容できる。 ⑥⑦⑧	○関連情報を収集 整理、発表でき る。⑨⑩⑪	○悩みに気付く善 の解決を図る。⑰	○1学期の 振り返り ○夏休みの 計画	A-(3) 自己を見つめる A-(1) 自分の生き方	【各教科】 各教科 の目標	○1学期の生活、夏休みの生活を振り返り反 省・検討を行い、2学期以降の生活に生か す様にする。 ○目標を立てる。
	セーフティ 教室	安全な環境作 り自らを 守る姿勢 【人】【地】	○正しい利用の仕 方を理解し、生 活に生かす。 ○自己を守る対応 ができる。①②	○自分の利用の 仕方を点検す る。 ○自分の住む環 境を知り、再点 検する。⑥	○使用の仕方によ る弊害、ネット社 会の現状を理解 する。 ○身のまわりにあ る危険を理解す る。⑨⑪	○自分の生活に生 かす。⑬	○安全指導	C-(10) 規則の意義 C-(12) 公德のモラル A-(1) 責任ある行動	【保健体育】 【家庭】【社会】 関連単元 ○安全教育	○現代社会における危険な行為や事象を認 識し、それに対する防御を学習する。 ○危険を回避する手段を学び、他の人と協力 して安全な生活を営む姿勢を育む。
	大掃除	生活環境を 考えよう【社】	○自他の役割と責 任を自覚しなが ら、仕事ができ る。④⑤	○今の自分は生 活環境に対し 何をすべきか 考える。⑦	○仕事の取り組み 方が分かる。⑪	○自分の役割を把 握し実行する。 ⑮⑯	○奉仕活動	C-(15) 母校を愛する C-(15) 集団と役割	【社会】 環境 【家庭】 家庭環境	○奉仕活動をすることで勤労の大切さを考え る。 ○身近な環境(学校)から地域の環境を考える
9	校庭整備	ボランティア活 動をしよう(社 会の一員とし て生きる)【ふ】 【社】	○互いに支え合 っていくことの必 要性が分かる。 ⑤	○社会のために 貢献できる自 分に気付く。 ⑧	○ボランティア活 動する人の考え 方が分かる。⑩	○自分の役割を考 え人の役に立つ ように務める。⑫⑬	○奉仕活動	C-(15) 母校を愛する C-(15) 集団と役割		○人の生活は支え合いにより成り立っている 事を理解し、今やれる事を考え行動する。 ○働く事の意義、喜び、必要性を考える。 ○感謝の気持ちを抱く。
	運動会	人(上級生) との協力 【総】	○協力して準備を 進める。②③⑤	○自分の特性を 知る。 ⑥⑦⑧	○役割の組み 方が分かる。⑩	○自分の役割を 把握し、実行す る ⑫	○運動会への 取組	C-(15) 集団と役割 C-(15) 母校を愛する B-(8) 友情に支えられて	【体育】 集団行動 行事の運営	○自分の適性を知り、自分の活躍の場を見 出し努力をさせる。 ○協力の大切さを認識させ、練習方法の工夫 や演技の内容を考え創造力を育成する。

月	行事 特別活動	学習	キャリア教育の基礎的・汎用能力(指導観点)				学活との関連	道徳との関連	教科との 関連	指導内容
			人間形成能力 社会形成能力	自己理解 自己管理能力	課題対応 能力	キャリアプラン ニング能力				
10	陸上競技 記録会	自己を高める 【総】	○協力して準備を 進める。②③⑤	○自分の特性を 知る。⑥⑦⑧	○役割の取り組 み方が分かる。 ⑩	○自分の役割把握 し実行する。⑫	○記録会への 取組	C-(15) 集団と役割 C-(15) 母校を愛する A-(1) 責任ある行動	【体育】 自己の体力 を高める	○自分の適性を知り、自分の活躍の場を見 出し努力をさせる。 ○自己記録の向上を目指し、練習の仕方 を考え努力する姿勢を培う。 ○学校代表としての意識と責任を高めさ せる
	防災講話	環境を考える 生き抜く力を 育む【社】【人】 【ふ】	○災害発生時の自 己の役割に気付 く。⑤	○自己の防災に 関する能力を 知り、高める。 ⑧	○災害に対する情 報を整理し、活 用できるように する。⑩	○自分の生活に生 かす。⑬	○安全指導	D-(21) 畏敬の念 B-(6) 思いやりの心	【保健】 防災教育	○災害に対する対処方法を学習し、災害に 対する手立てについて理解させる。 ○災害体験を聞き、それに立ち向かう人々 の心に触れ自分は何ができるか考えさ せる。
	福祉学習	福祉学習(自 立支援施設と の交流) 【人】【社】 【ふ】	○社会の様々な人 と互いに支え合 っていくことの必 要性が分かる ○様々な方法でコ ミュニケーション ができる。 ③④⑤	○社会のために 貢献できる自 分に気付く。 ⑥⑧	○講師の話から自 立支援施設の取 組を理解する。 ○福祉関係に働く 人の考えが分か る。⑩⑪	○社会での福祉の 必要性を知る。 ○自分の役割を考 え人の役に立つ ように務める。 ⑭⑮	○自立支援施 設との交流 に関する取 組	C-(11) 差別・偏見のな い社会 B-(7) 心の触れ合い C-(13) 仕事に生きる		○障害に対する正しい知識を身に付けると ともに、人権の重要性を再確認させる。 ○様々な個性をもつ人との関わり方、コミュ ニケーション能力を育む。 ○様々な人々との共生を目指し、主体的に 行動する態度を身に付けさせる。
11	合唱 コンクール	人(クラス)と の協力【総】	○協力して準備を 進める。②③⑤	○自分の特性を 知る。⑥⑧	○役割の取り組み 方が分かる。⑩	○自分の役割を実 行する。⑫⑬	○合唱コンク ールの取組	C-(15) 集団と役割 B-(8) 友情に支えられて	【音楽】 情操・協力	○全員で協力しひとつの物を作り上げる意 義を考え、自己の役割と協力の心を育 む。
	修学旅行	修学旅行での 学習 【地】【社】	○協力して準備・ 活動をする。⑤	○自分の特性を 知る。⑥	○仕事の取組方が 分かる。 ○必要な情報を収 集し活用する。 ⑪	○学習した内容 を自分の生活に 生かす。⑬	○修学旅行へ の取組	C-(15) 集団と役割 C-(17) 日本人の心 C-(18) 心の平和を求めて C-(18) 真の国際貢献	【理科】【社会】 【国語】【技術・ 家庭】 テーマに関 係した学習	○旅行先で文化遺産などを見聞し、講師 より戦争体験を聴くことで日本の文化 と伝統及び平和の大切さを学ばせる。
	上級学校 訪問 (体験入学)	上級学校を訪 問し、実際の 学校生活に触 れる	○インタビューな どでコミュニケー トできる。④	○自分の進路の 適性を考える ⑥⑧	○訪問を通して得 た情報を活用す る。⑩⑪	○学習と将来の生 き方との関連を 理解する。 ⑬⑮	○進路学習	A-(5) 生きがいを求め て A-(1) 自分の生き方	【全教科】 高校での学 習とのつな がり	○訪問の際のマナーを学び、考えさせる。 ○上級学校を訪問することで実際の 高校生活を見聞し、自己の今後の生 活を考え、進路選択をさせる。 ○郷土八丈島を知る一環として、地 元の上級学校について理解を深め させる。
	進路説明会	自分の将来を 考える	○夢の実現に向け て意欲をもち、 現在の自己の課 題を考える。①	○自分の進路の 適性を考える ⑥⑧	○高校生活・勉強 などの情報を得 て活用する。 ⑨⑩⑪	○自分らしい生き方 を考える。 ⑬⑭⑮⑯	○進路学習	A-(1) 自分の生き方 C-(14) 家族の願い		○上級学校へ進む手続きについて理 解させる ○得られた情報を基に整理、考 察し自己の進路選択に活用させる。
12	国際理解 教室	グローバル 社会を生き る(国際交流) 【人】【地】	○他人(異文化)の 良さや感情が理 解できる。 ○おもてなし③	○社会性(国際 的視野)を身 に付ける。 ⑧	○外国の方との交 流の中から、自 分に必要な情 報を得る。⑩	○視野を広げ、異 国の生活を聞くこ とで生き方を比較 する。⑮		C-(18) 人類への愛 C-(18) 真の国際貢献 B-(9) コミュニケーシ ョンの原点	【英語】 【社会】 関連単元	○日本との違いを理解、すすんで 国際交流ができる姿勢と態度を 育成する。 ○他国の人と交流を通して、異 文化を学習し視野を広め、国際 感覚の養成を図る。
	進路学習会	先輩に学ぶ。 (学ぶ意義・ 将来の展望) 【人】【社】【地】	○高校の生活や学 習について知り、 将来の夢や目標を 持つ。①	○自分の職業適 性を考える。 ○進学する意味 を考える。 ⑥⑦⑧	○講師の話から必 要な情報を整理 し、理解する。⑩	○将来に向けて自 己の適性を知る。 ○上級学校へ入 学の為の取組を 考える。⑭⑮⑯	○進路学習会 (卒業生講話)	A-(1) 自分の生き方 A-(4) 希望に向かって	【全教科】 教科と職業 の関連 ○高校での 学習	○人生の先輩である社会人又は 高校生を招き、お話を聞き、自 己の進路について考えを深め させる。
	租税教室	社会の仕組み を知る	○将来の自分が納 める税金について 考え自己の社会 の役割を考える。 ○自分の生活に 税金がどのように 関わっているか理 解する。	○社会における税 金の役割を講師 の講話より得る ことができる。	○自己の人生と税 金の関わりを理 解し将来設計を 検討する。	○外部講師に よる学習	C-(10) 規則の意義 C-(12) 公德のモラル A-(1) 責任ある行動	【社会】 税金の役割	○税金の使われ方を学び、社会 の仕組みを理解させ、将来の 職業観を高めさせる。	
1	進路学習	受験の心構え (最終進路 選択)	○新しい生活に向 け心構えをもつ ①	○自分の将来の 生き方に気付 く。⑥⑦	○情報を収集し、 役立てる。 ⑨⑩⑪	○将来の人生設計 をイメージする。 ○最適な進路の決 定をする。⑯	○進路学習	A-(2) 生活のリズム A-(3) 自己を見つめる		○自分の入試カレンダーを作成し、 日程のチェックを行い、自己 責任で入試に望む姿勢を作る。
2	卒業制作	卒業までの学 校生活を充実 させよう	○自分の役割を考 え、成すべきこと を実行する。② ○互いに支え合い 協力しあう。 ③④⑤	○自分の個性や 特性を生かす。 ⑥⑦⑧	○情報を収集し、 的確な活用をす る。⑪	○将来に向けて自 己の適性をイメ ージする。 ⑮⑯		B-(9) 個性や立場の尊 重 C-(13) 奉仕の心		○卒業を迎え、今日までお世話 になった人々に両親などに感謝 の気持ちをもたせる。 ○自分自身、自分の周囲の人、 自分を取り巻く環境に目を向 け、地域や社会と共に生きる 自分自身に付けて考えさせる。
3										